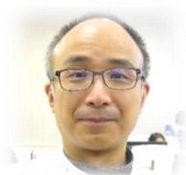


公立能登総合病院 地域医療支援センターだより

2021年
秋号
Vol.36

センター長のご挨拶

地域医療支援センター長 山端 潤也



相変わらず新型コロナウイルス（疑いを含む）への対応で、先生方、ご施設の方それぞれ気を遣う日々かと思います。ワクチン接種に当たられる先生方、スタッフの皆様にもお礼申し上げます。このような大変な中でも紹介・逆紹介を活発に進めていただき感謝しております。

今号でも当院の新たな機器、取り組みをご紹介します。今後とも活発な連携のほどよろしくお願い申し上げます。

～放射線部からのご案内～

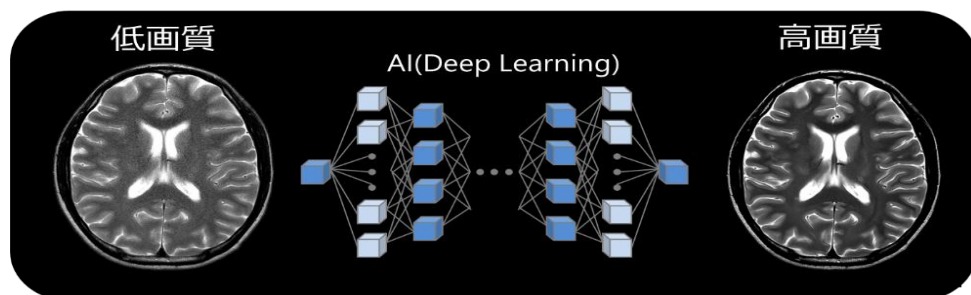
患者さんにやさしい最新1.5テスラMRI装置を導入しました

MRI検査装置の老朽化に伴い、新たにCanon社製 VantageOrian（1.5T）を装置いたしました。

新装置の特徴について、ご紹介させていただきます。

新MRI装置の特徴について

- ①世界初のディープラーニングを応用した画像再構成（3T並みの高画質化）



- ②圧縮センシングを応用した時間短縮技術（検査時間の短縮）
③クラス最大の71cmガントリ開口径（圧迫感を軽減）
④全ての検査騒音を聴感で10分の1に抑えるPianissimo機構の搭載

ご予約について

高額医療機器共同利用にてMRI検査のご予約をお受けしておりますので、ご希望の際は地域医療連携係までご連絡をお願いいたします。

地域医療連携係
TEL 0767-52-8718

高画質で患者さんにやさしいこの装置は、今後の病診連携や高額医療機器共同利用に大きく貢献し、地域の先生方にもご満足いただける事と確信しております。ぜひご利用ください。
(診療放射線技師長 森元)

～外科からのご案内～

ロボット支援下直腸癌手術について

外科部長 石黒 要

いつも患者さんをご紹介くださり有難うございます。

このたび、日本内視鏡外科学会の技術認定制度に直腸癌手術で申請し、認定を受けました。これは、腹腔鏡手術において、高い水準の手術を行い、後進を指導するうえで十分な技術を持つ医師を認定する制度です。認定率約30%のこの試験に合格できたのは、ひとえに、先生方のおかげと思っております。

さて、9月から手術支援ロボット「ダビンチ」による直腸癌手術を開始することになりました。以下に少し、Q&Aの形でまとめさせていただきました。

Q & A

Q1. ロボット支援下手術とはなんですか？

A1. 内視鏡手術の1つです。鉗子や内視鏡をロボットに持たせ、そのロボットを医師が操作して手術を行います。



Q2. ロボット支援下手術はどのような消化器疾患に対して行われているのですか？

A2. 基準を満たした病院でのみ、食道癌、胃癌、直腸癌、膵癌の手術が行われています。当院では私が今回認定を受け基準を満たしましたので、直腸癌にたいしてのみ手術が行えるようになりました。

Q3. ダビンチの特徴はなんでしょうか？

A3. 代表的な点として以下があげられます。

- ・3D画像、10倍拡大の高性能スコープ
- ・関節を有し、手首のように曲がる自由度の高い鉗子
- ・パワーがあり、ぶれない鉗子



Q4. 直腸癌手術をダビンチで行うメリットはなんでしょうか？

A4. 直腸は深く狭い骨盤の中にあります。それゆえ、開腹手術では見にくい、腹腔鏡手術では鉗子の動きに制限があり剥離がしにくいことが問題でした。ダビンチの使用により、この問題が改善され、より繊細な手術が可能となります。根治性・機能温存の向上が期待されます。なお、手術時間や入院期間は短縮しません。

患者さんの種々の状況により、適応とならない場合もありますが、興味のある方がいらっしゃいましたら、ご連絡いただけましたら幸いです。

先生方や地域の皆さんのお役に立てるよう、今後も励んでいく所存でおります。今後ともよろしくお願いいたします。

脳神経外科輪番制の当番日

10月2.9.10.16.23.24.30
11月3.6.7.14.20.21.27.28
12月4.11.12.18.25.26.29.31

小児科休日当番日のご案内

10月10日 11月3日
12月26日 12月31日